



なかすじっ子

2019年
6月4日

No.9

文責：陸野

6月の生活目標：えい生に気をつけよう！

四万十市5校連合小学校 修学旅行道中記 その5(最終回)



【3日目】

朝食はバイキング形式。皆、思い思いにお皿の上に料理をのせていく。野菜などバランスよくのせていく子もいれば…。ま、いいでしょう。

ロビーでの退館式。「おかげで、レオマに向けてぐっすり眠ることができました。私たちもルールを守って過ごすことができました。」とあいさつ。

ホテルの方に手を振って出発。まずは、バスの中からサノヤス造船所を見学。タンカーを作っていた。案内の方が「将来、この造船所で働きたいと思った人？」の質問に、一同しーん。未だかつて、ここに就職した人の中で、小学校時代に見学に来た人はいないということだった。キャリア教育という面でも、いい見学になったと思うのですが、まだ将来のことはわかりませんよねえ。

待ちに待ったレオマワールドへ。10時の開園5分前にはゲート前に整列。貸切状態くらいすいていた。が、この後、いくつか団体（遠足など）が入っているということだった。

いったん集合して注意事項。とにかく「独りぼっちをつくらない」ことを改めて確認した。そして、作戦会議をして、お目当てのアトラクションへ。学校毎にグループになって…という光景はもうない。学校を超えて、班を超えて、アトラクションでさまざまに楽しんでいた。



14時30分。時間内に全員が集合。素晴らしい。後ろ髪引かれるような思いで、楽しかったニューレオマワールドを出発し、めざすは2日前に旅



行のスタートを切ったサンリバー四万十。帰りのバスの中では、ガイドさんがもってきてくれていたビデオを視聴しながら静かに時を過ごした。

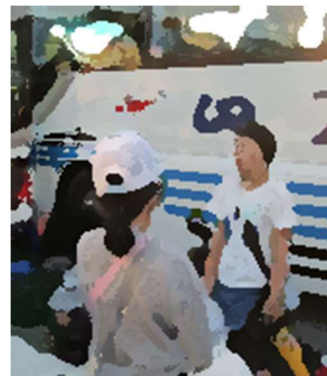
最後のトイレ休憩（ユース四万十）の後、一人ずつ感想を言っていた。

- ★1日目はみんな緊張していたけど、この3日間で友だちが増えた。楽しかった。
- ★友だちとみんなで旅行したことがなかったので楽しかった。
- ★5校のみんなと一緒に、楽しみながら学習できてよかった。
- ★普段はできない集団での行動ができ、仲良くなれた。
- ★野球では、始めは緊張して声が出なかったけど、終わりの方ではしっかり応援できた。
- ★最初は選手の名前も知らなかったけど、最後の方は盛り上がってよかった。（ホームランの）ボールもとれたかった。
- ★平和学習は最初は恐くて行きたくなかったけど、学習していくうちに大切さがわかった。
- ★平和資料館では、学校の図書館では見られない絵や写真があって気持ち悪かったけど、本当にあったことが知れてよかった。
- ★レオマでは全てのアトラクションには乗れなかったのが、次来たとき全て乗りたい。
- ★全てが楽しかった。

18時20分頃、全員無事にサンリバー四万十に到着。すでにたくさんの方々がお迎えに来てくださっていた。ここで解散式を行った。

児童代表で葛花さんがあいさつをした。

「修学旅行でたくさんの友達ができ、思い出もつくれました。私は、同じ学年のたくさんの学校の人と一緒にすごすことができ、とても楽しかったです。特にホテルですごしたことやレオマワールドで一緒に回ったことが一番楽しかったです。これからも水泳記録会や陸上記録会もあるので仲良く交流していきましょう。私たちは平和記念公園にも行きました。語り部さんの話を聴いたり、戦争の資料を見たりしました。戦争の恐ろしさを知り、もう絶対に戦争は起きてはいけなと思います。家に帰ってこれら修学旅行の思い出話をたくさんしたいと思います。」



私からは、次のような話をして締めくくった。

「とても充実した3日間でしたね。出発のときに大切にしたい3つのことをお話ししました。『ありがとうございます』や『はい』など、みなさんから気持ちの良い言葉をたくさん聞くことができました。人の話を一生懸命聴き、メモをとる姿をたくさん見ました。同じ学校、違う学校の友達と楽しそうに活動する姿をたくさん見ました。仲間もたくさんできて、一つのあたたかいクラスになったような感じがしました。みなさんは、5校の代表として本当に立派な態度でした。そんなみなさんをおうちの人、先生方、運転手さんやガイドさん、添乗員さんなどたくさんの方が支えてくれました。その支えがあって楽しく充実した修学旅行ができたことを忘れないでください。

これで、5校連合の修学旅行団を解散します。修学旅行で学んだことを生かして、それぞれの学校で、その中心としてこれからも活躍してください。」

そして、子どもたちは一番居心地の良い場所に帰って行った。その夜は、お土産話に花が咲いたことだろう。みなさん、お疲れさまでした。 ～修学旅行道中記<完>～